

三重県知事の台湾訪問（3月17日）の概要について

一見知事は、半導体などの産業連携の促進やインバウンド誘客を進めるため、台湾を訪問しました。3月17日（火）には、高雄市内で、防災関係の視察、観光誘客セミナー及び県内観光事業者と台湾旅行会社との商談会を開催しました。また、高雄市政府を訪問し、半導体産業、教育及び今後の交流等に関する意見交換を行いました。

【3月17日（火）】

1 防災関係視察等

(1) 場 所 慈濟（ツーチー）基金会※ 高雄静思堂（高雄市内）

※台湾花蓮に本部を置く慈善団体。67 各国・地域にボランティア拠点をもち、慈善・医療・教育・人文・国際支援・骨髄移植・環境保全・地域ボランティアの8項目を柱に活動。日本をはじめ、世界各地で発生した災害への支援を行っている。

(2) 出席者

(相手方) 慈濟基金会 高雄災害対応センター

責任者 潘 機利（パン ジリ）氏 ほか

(三重県) 知事 一見 勝之 ほか

(3) 概 要

- ① 慈濟高雄の災害対応センター責任者である潘機利氏ほか多数の方の出迎えを受け、視察を受け入れていただいたことへの感謝などを知事からご挨拶しました。
- ② 高雄静思堂内の「慈濟技術博物館」で、慈濟が長年にわたり国内外の多くの災害救援活動のために開発した、行動厨房（モバイルキッチン）や浄水装置、2人で簡単に敷設できる避難所用テントなどの救援用具について説明を受けました。
- ③ 展示の説明と併せて、本県でも大きな課題となっている、スフィア基準をふまえた避難所の環境改善に関連して、2024年の台湾東部沖地震など各地で迅速な災害対応をしてきた経験をふまえ、避難所設営の手法や考え方について説明を受けました。
- ④ 避難所設営の考え方やさまざまな救援用具は、県として力を入れて取り組む避難所の環境改善に向けて参考となる内容でした。



（高雄静思堂の玄関ホールで多くの方に歓迎され、挨拶する一見知事）



（移動式のキッチンセット。3.5 tトラックで移送し、現地で高さを調節して設営する。）



（被災地へ運んで使う浄水装置（右側））



（記念品を交換した後の記念撮影）

2 観光誘客セミナー・台湾旅行会社との商談会

（1）場 所 寒軒国際大飯店（高雄市内）

（2）出席者

（相手方）台湾旅行会社 32 社 38 名

（来賓）公益財団法人日本台湾交流協会高雄事務所 所長 奥 正史

（三重県）知事 一見 勝之 ほか

（観光団）志摩市長 橋爪 政吉

観光団長 近鉄グループホールディングス（株） 伊勢志摩支社 山本支社長
ほか県内観光関連事業者 18 団体 23 名

（3）概 要

- ① 台湾から三重県内への誘客促進につなげることを目的に、台湾の旅行会社や現地メディアを対象に観光誘客セミナーを開催し、三重県の観光の魅力を PR しました。またセミナー終了後には、旅行商品の訪問先に三重県の観光施設や

宿泊施設を入れていただくことを目的に、県内観光関連事業者と台湾現地旅行会社との商談会を実施しました。

- ② セミナーには来賓として公益財団法人日本台湾交流協会高雄事務所の奥所長をむかえ、台湾現地の旅行会社総勢 32 社 38 名が参加しました。また、一見知事のほか、橋爪志摩市長も参加し、伊勢志摩の観光の魅力をPRしました。
- ③ 一見知事はセミナーの中で、「海女や忍者、真珠、F1 などの三重県ならではの魅力に加えて、日本一の松阪牛や海の幸などの魅力的な食も豊富にある。さらに関西国際空港や中部国際空港からのアクセスもよいので、ぜひ多くの台湾からの観光客の皆様にお越しいただきたい。」旨、説明しました。
- ④ セミナーでは、観光地の魅力とともに、関西国際空港からのアクセスや周遊ルートなどを訴求しました。また、忍者の発祥地として三重県をPRするため、伊賀忍者特殊軍団「阿修羅」による忍者実演も実施したところ、「忍者は台湾でも人気のある観光コンテンツなので、三重県が忍者発祥の地であることをPRすれば、台湾人にはよく響くと思う。」「伊賀流忍者体験施設をいち早く商品化したいので、詳しく教えてほしい。」など大きな反響がありました。
- ⑤ 参加した旅行会社からは、「三重県は関西国際空港からのアクセスがよく、大阪や京都からも近いことがよく分かった」、「関空から和歌山を通り三重に入るルート以外にも、新たなルートを検討したい」、「英虞湾の絶景が楽しめる志摩市の横山展望台を行程に含むツアーの造成を検討したい。」など高い関心を示されるとともに、県内事業者と緊密で詳細な意見交換が行われました。



(挨拶する一見知事)



(挨拶する奥所長)



(志摩市長のプレゼンの様子)



(伊賀忍者特殊軍団「阿修羅」の実演)

3 高雄市政府訪問

(1) 場 所 高雄市政府（高雄市内）

(2) 出席者

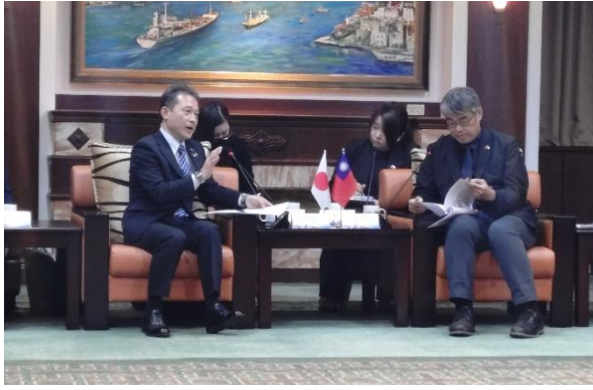
（高雄市） 副市长 李 懷仁（り かいじん） ほか

（三重県） 知事 一見 勝之 ほか

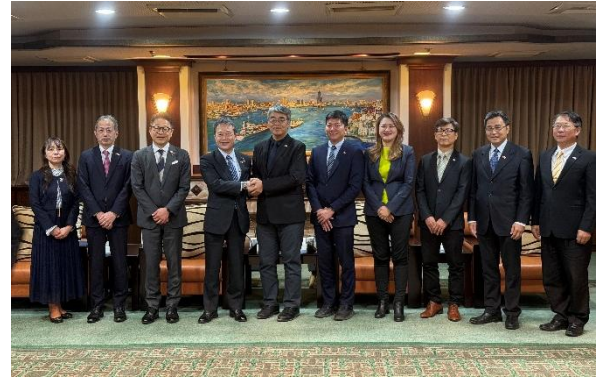
（志摩市） 市長 橋爪 政吉 ほか

(3) 概 要

- ① 平成 28 年 1 月に産業、観光、教育に関する「高雄市と三重県の国際交流促進覚書」（MOU）を締結した高雄市を訪問し、李副市长と今後の交流に向けた意見交換を行いました。一見知事の高雄市政府訪問は、令和 5 年 1 月以来、2 回目となります。
- ② 李副市长からは、「「高雄市と三重県の国際交流促進覚書」を締結してから今年で 10 年目を迎えた。両者はこれまで産業、観光、教育の分野で多様な交流を進めてきた。三重県と高雄市は、ともに半導体産業が盛んであるという産業構造や防災やレジリエンス強化施策に取り組んでいる共通点があり、今後も交流を促進していきたい。」旨、述べられました。
- ③ 一見知事からは、「前回の訪問時に陳市長と約束した若者の交流が進んでおり、今後も進めていきたいと考えている。今回の高雄市訪問では観光誘客セミナーを実施しており、より多くの高雄市の方に三重県を訪問してほしい。また、防災関係の施設を視察し、先進的な取組を学ばせていただいた。さらに、高雄市と同様に、三重県も半導体産業の振興に取り組んでいる。半導体、防災、教育分野等で高雄市から学ぶことは多く、引き続き連携を進めていきたい。」旨、述べました。
- ④ 橋爪志摩市長からは、「世界中から多くの人々が志摩市を訪問しており、今回、観光誘客セミナーの実施により高雄市の方々に志摩市の魅力を感じていただいた。今後も志摩市の魅力を発信していくとともに、多面的に高雄市との交流を進めていきたい。」旨、述べられました。
- ⑤ 意見交換では、一見知事から高雄市が半導体関連の企業誘致に成功したポイントについて質問し、李副市长からは「行政の支援、スピーディな対応、エネルギーの確保がポイント。半導体工場は 1 か所に何工場も建てるケースが多いため、数年先を見据えた対応が必要。また、人材不足への対応として大学の誘致も行った」旨、回答がありました。
- ⑥ さらに、一見知事から教育面のさらなる連携について質問し、吳教育局長からは「事前にテーマを決めてオンラインミーティングを重ね、対面で会った時の親近感を高める取組が有効ではないか」との提案がありました。
- ⑦ 最後に、アメリカ出張中の陳市長に対する親書を李副市长に手渡し、今後も多様な取組を進めることを依頼するとともに、高雄市役所幹部の三重県への来訪を期待する旨伝えました。



(知事と副市長との面談)



(記念撮影)

左から、志摩市出口観光経済部長、三重県天野政策企画部副部長、志摩市橋爪市長、三重県一見知事、高雄市李副市長、吳教育局長、高観光局長、行政暨國際處張副處長、經濟發展局林廖副局長、消防局黃專門委員

4 県内観光事業者と台湾旅行会社との夕食交流会

(1) 場 所 阿忠海鮮 (高雄市内)

(2) 出席者

(相手方) 台湾旅行会社 8 社

雄獅旅行社 (高雄分公司)

京城旅行社

可樂旅遊旅行社 (高雄分公司)

三益旅行社 (教育旅行)

東南旅行社 (前金分公司)

五福旅行社

仁邦旅行社

行家旅行社

(三重県) 知事 一見 勝之 ほか

(観光団) 志摩市 市長 橋爪 政吉 ほか

(3) 概 要

- ① 三重県内の観光事業者と台湾現地旅行会社とのネットワーキングを図り、三重県へのさらなる誘客促進につなげるため、夕食交流会を開催しました。
- ② 参加した現地旅行会社からは、「熊野古道はハイキングに行くにはやや困難だが、山歩きやトレッキングにはちょうどいい。」「なばなの里のイルミネーションは素晴らしい。」といった発言がありました。



(挨拶する一見知事)

<報道問い合わせ先>

- (1) 全体行程に関する事

政策企画部国際戦略・プロモーション推進課 059-224-2844

- (2) 訪問先1 (防災関係視察) に関する事

防災対策部防災総務課 059-224-2181

- (3) 訪問先2 (観光セミナー), 4 (台湾旅行会社との夕食交流会) に関する事

観光部海外誘客課 059-224-2847

- (4) 訪問先3 (高雄市政府訪問) に関する事

雇用経済部企業誘致推進課 059-224-2499